

安全データシート

ポリ（オキシエチレン）＝パラ - （1， 1， 3， 3 - テトラメチルブチル） フェニル＝エーテル

改訂日 2022 年 12 月 26 日

1. 化学品及び会社情報

製品名	HEALGEN COVID-19 抗原迅速テスト（一般用）
該当コンポーネント名	検体処理液入りチューブ
会社名	タカラバイオ株式会社
住所	〒525-0058 滋賀県草津市野路東七丁目 4 番 38 号
電話番号	0120-878-750
製品コード	RD009
TaKaRa Code	RD009

2. 危険有害性の要約（以下、濃度を記す項目以外は単一物質について示す）

NITE 統合版 GHS 分類結果に基づく。

GHS 分類

物理化学的危険性	<u>危険・有害性項目</u>	<u>GHS 分類結果</u>
健康に対する有害性	<u>危険・有害性項目</u> 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	<u>GHS 分類結果</u> 区分 2A
環境に対する有害性	<u>危険・有害性項目</u> 水生環境有害性 短期（急性） 水生環境有害性 長期（慢性）	<u>GHS 分類結果</u> 区分 2 区分 2

注） 上記の GHS 分類で区分の記載がない危険有害性項目については、政府向けガイダンス文書で規定された「区分に該当しない」または「分類できない」に該当する。なお、健康に対する有害性及び環境に対する有害性については、それぞれ後述の 1 1 項及び 1 2 項に記述がある。

ラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：	警告
危険有害性情報：	強い眼刺激。 水生生物に毒性。 長期的影響により水生生物に毒性。
注意書き：	【安全対策】 取扱後は眼をよく洗うこと。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 環境への放出を避けること。 【応急措置】 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。 漏出物を回収すること。 【保管】 ----- 【廃棄】 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	ポリ（オキシエチレン）＝パラ - （1， 1， 3， 3 - テトラメチルブチル） フェニル＝エーテル
慣用名及び別名	ポリ（オキシエチレン）＝オクチルフェニルエーテル、(Poly (oxyethylene) octylphenyl ether)、ポリエチレングリコール＝[4－（1， 1， 3， 3－テトラメチルブチル）フェニル]＝エーテル、Triton X-100、alpha-[4-(1,1,3,3-Tetramethylbutyl)phenyl]-ω-hydroxypoly(oxy-1,2-ethanediyl)
CAS No.	9002-93-1
濃度または含有率	1.5%
化学特性（化学式又は構造式）	分子式：(C ₂ H ₄ O) _n C ₁₄ H ₂₂ O n=9-10 示性式：
官報公示整理番号（化審法・安衛法）	

4. 応急措置

吸入した場合：	気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合：	水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合：	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合：	口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤：	データなし
火災時の特有の危険有害性：	加熱されると分解して、腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法：	危険でなければ火災区域から容器を移動する。安全に対処できるならば着火源を除去すること。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置：	適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置：	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立入りを禁止する。密閉された場所に立入る前に換気する。全ての着火源を取り除く。
環境に対する注意事項：	環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材：	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策	排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐこと。
回収、中和：	不活性材料（例えば、乾燥砂又は土等）で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策：	特別に技術的対策は必要としない。
局所排気・全体換気：	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱注意事項：	取扱後は眼をよく洗うこと。適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。
接触回避：	データなし。
保管	
技術的対策：	特別に技術的対策は必要としない。
保管条件：	データなし。
容器包装材料：	データなし。
衛生対策：	取扱い後はよく手を洗うこと。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度：	未設定
許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）：	日本産衛学会：未設定 ACGIH：未設定
設備対策：	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には、適切な洗眼器と安全シャワーを設置すること。ばく露を防止するため、作業場には適切な全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
保護具	
呼吸用保護具：	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具：	適切な保護手袋を着用すること。
眼、顔面の保護具：	適切な眼、顔面の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具：	適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観（物理的状態、形状、色など）：	粘調液体：Merck (14th, 2006)、淡黄色：Merck (14th, 2006)
臭い：	データなし
融点／凝固点：	-4 °C：SRC Phys Prop (Access on Nov. 2010)
引火点：	251 °C (CC)：NITE 総合検索 (Access on Nov. 2010)
沸点又は初留点及び沸騰範囲：	120 °C：SRC Phys Prop (Access on Nov. 2010)
爆発下限及び爆発上限／可燃限界：	データなし
蒸気圧：	0.000003 mmHg (25°C)：SRC Phys Prop (Access on Nov. 2010)
蒸気密度（空気 = 1）：	20.8(空気 = 1)(9EO)：CERI ハザードデータ集 (2001)
密度及び／又は相対密度：	1.0595 (25°C/4°C)：Merck (14th, 2006)
溶解度：	5.36 mg/L：SRC Phys Prop (Access on Nov. 2010)、アセトンに溶解：CERI ハザードデータ集 (2001)
n-オクタノール／水分配係数(log 値)：	4.86：SRC Phys Prop (Access on Nov. 2010)
分解温度：	データなし
粒子特性：	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性：	データなし。
化学的安定性：	法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。
危険有害反応可能性：	データなし。
避けるべき条件：	データなし。
混触危険物質：	データなし。
危険有害な分解生成物：	データなし。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）：	データなし。
急性毒性（経皮）：	データなし。
急性毒性（吸入）：	吸入（ガス）：GHS の定義における液体である。 吸入（蒸気）：データなし。 吸入（粉じん及びミスト）：データなし。
皮膚腐食性／刺激性：	データなし。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：	

ウサギの眼に試験物質の 10%液を 0.1 mL 適用した試験（OECD TG405）において、刺激性（角膜混濁、虹彩炎、結膜の発赤と浮腫）が認められたが、症状は全て適用後 7～21 日にほぼ回復し、MMAS（AOI に相当）= 68.7 であった（ECETOC TR 48（2）（1998））ことに基づき、区分 2A とした。

呼吸器感受性：データなし。

皮膚感受性：データなし。

生殖細胞変異原性：データなし。

発がん性：データなし。

生殖毒性：データなし。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：データなし。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：データなし。

誤えん有害性：データなし。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）： 魚類（ブルーギル）の 96 時間 LC50 = 3 mg/L（ECETOC TR91, 2003）から区分 2 とした。

水生環境有害性 長期（慢性）： 急性毒性区分 2 であり、急速分解性がない（BIOWIN）ことから区分 2 とした。

残留性・分解性： 情報なし

生体蓄積性： 情報なし

土壤中の移動性： 情報なし

オゾン層への有害性： 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装： 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制 UN No. : N/A

海上規制情報 該当しない

航空規制情報 該当しない

国内規制

陸上規制情報 該当しない

海上規制情報 該当しない

航空規制情報 該当しない

特別安全対策 移送時にイエローカードの保持が必要。食品や飼料と一緒に輸送してはならない。輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号

—

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法： 該当しない

労働安全衛生法： 該当しない

化管法（PRTR 法）： 第 1 種指定化学物質（法第 2 条第 2 項、令第 1 条別表第 1）

麻薬及び向精神薬取締法： 該当しない

航空法： 該当しない

船舶安全法： 該当しない

16. その他

引用文献等 各データ毎に記載した。

購入者への注意事項：

弊社製品は一般用検査薬です。それ以外の目的で使用しないでください。弊社から事前に書面による承認を得ることなく弊社製品を第三者へ譲渡、再販、再販目的で改変すること、または商品製造もしくは第三者へのサービス提供に使用することはできません。製品ウェブ・ページに記載されているライセンス要件の遵守は、この製品の使用に対しても適用されます。これらの記載事項により課されている全ての制約事項を検討、理解して遵守することは、使用者各位の責務です。他の全ての商標は、それぞれの所有者に帰属します。特定の商標は、全ての法的管轄区に登録されていない場合があります。